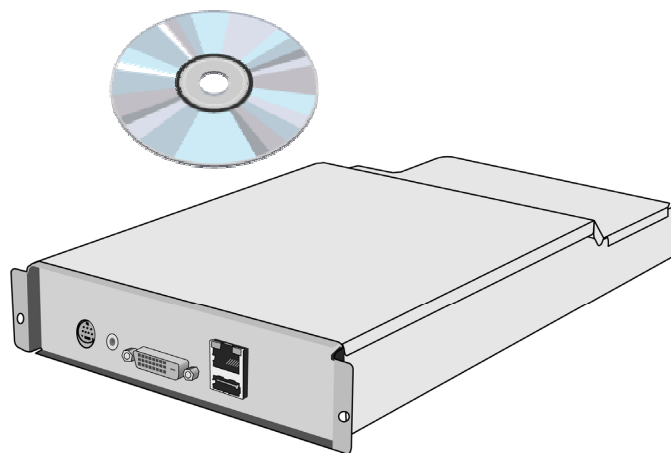


# メディアプレーヤー SB-L008KU

## 簡易操作説明書

Ver.1.1



NECディスプレイソリューションズ株式会社

**ご注意:**

本書の中の表示画面は、実際の表示画面と異なる場合があります。  
このマニュアルを許可なく複写・複製することは禁止されています。

Microsoft®、MS、Windows®、PowerPoint®、Windows Media®、Internet Explorer®、  
Internet Explorer®のロゴは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における  
登録商標または商標です。

# 目次

## ■ メディアプレーヤーとディスプレイの設定

- メディアプレーヤーの設定 ..... 2
- ディスプレイの設定 ..... 2

## ■ USBメモリを使用する方法

- はじめに ..... 4
- オーサリングソフト操作の流れ ..... 4
- オーサリングソフトのインストール ..... 5
- プログラムの起動（メインメニュー） ..... 7
- 環境設定 ..... 8
- 練習 ..... 8
- テロップ編集 ..... 9
- 番組編集 ..... 10
- 番組編集（コンテンツ登録） ..... 11
- 番組編集（テロップ登録） ..... 12
- スケジュール管理 ..... 13
- パネル管理（電源設定） ..... 14
- 配信 ..... 15
- 番組データをメディアプレーヤーのメモリーカードにコピーする ..... 16

## ■ ネットワークを使用する方法

- はじめに ..... 18
- オーサリングソフト操作の流れ ..... 18
- LANの接続 ..... 19
- メディアプレーヤーネットワークの設定 ..... 19
- オーサリングソフトのメディアプレーヤー登録 ..... 20
- 配信 ..... 22
- 表示装置側の画面 ..... 23

## ■ その他添付ソフトを使用する方法

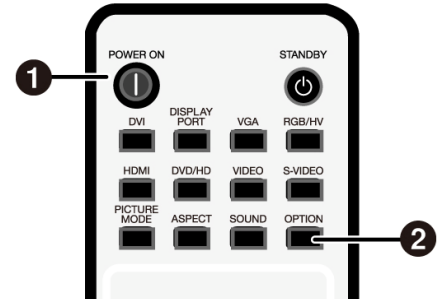
- ViewerPPT Converterのインストール ..... 25
- ViewerPPT Converterの活用 ..... 27
- パワーポイントを使ったコンテンツ作成方法 ..... 29

## メディアプレーヤーとディスプレイの設定

メディアプレーヤーをディスプレイに装着後、以下の設定を行ってください。

## メディアプレーヤーの設定

1. ディスプレイの主電源スイッチをONします。
2. リモコンの「POWER ON」ボタンでディスプレイの電源を入れます。
3. リモコンの「OPTION」ボタンを押し、映像入力を「OPTION」にします。約1分でメディアプレーヤーが起動します。
4. 起動後、「OPTION」キーを押しメディアプレーヤーのOSDメニューを表示し、①～④を設定します。



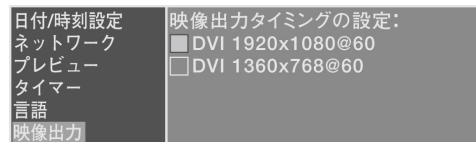
### ① 言語設定

表示言語を日本語にしてください。



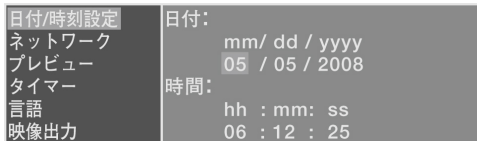
### ③ 映像出力

表示するディスプレイの最適解像度にあわせて、「映像出力」を設定してください。



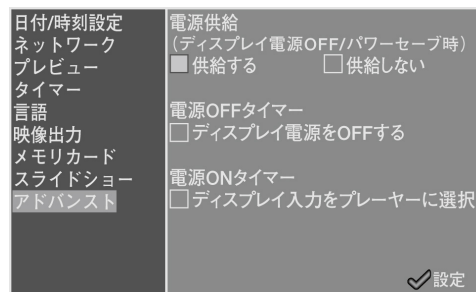
### ② 日付/時間設定

日付と時間を設定し、「設定」ボタンを選択してください。



### ④ メディアプレーヤーの電源供給

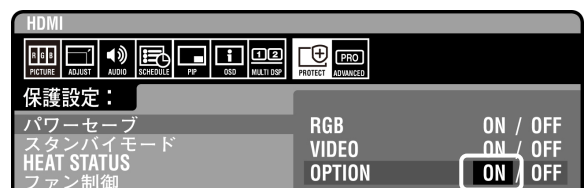
「アドバンスド」メニューの中の電源供給を「供給する」に設定し、「設定」を選択します。  
※出荷時は「供給しない」に設定されています。



## ディスプレイの設定

引き続き⑤～⑨を設定します

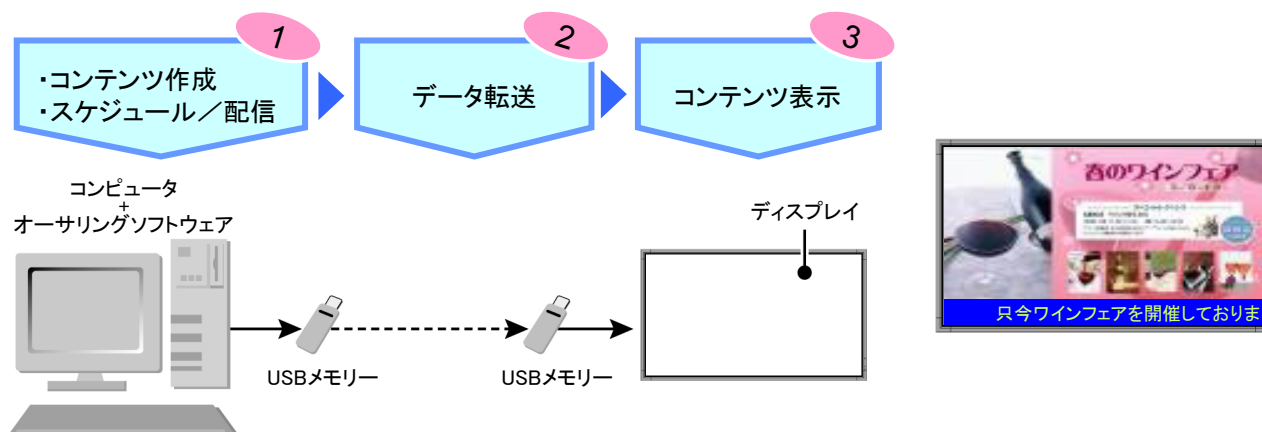
- ⑤ ディスプレイの電源を一旦OFFし、再度ONします。
- ⑥ 「MENU」ボタンによりディスプレイのOSD画面を開きます。
- ⑦ 「保護設定」→「スタンバイモード」から「スタンバイ」を選択します。
- ⑧ 「保護設定」→「パワーセーブ」→「OPTION」から「ON」を選択します。
- ⑨ 「MENU」ボタンによりOSD画面を閉じます。



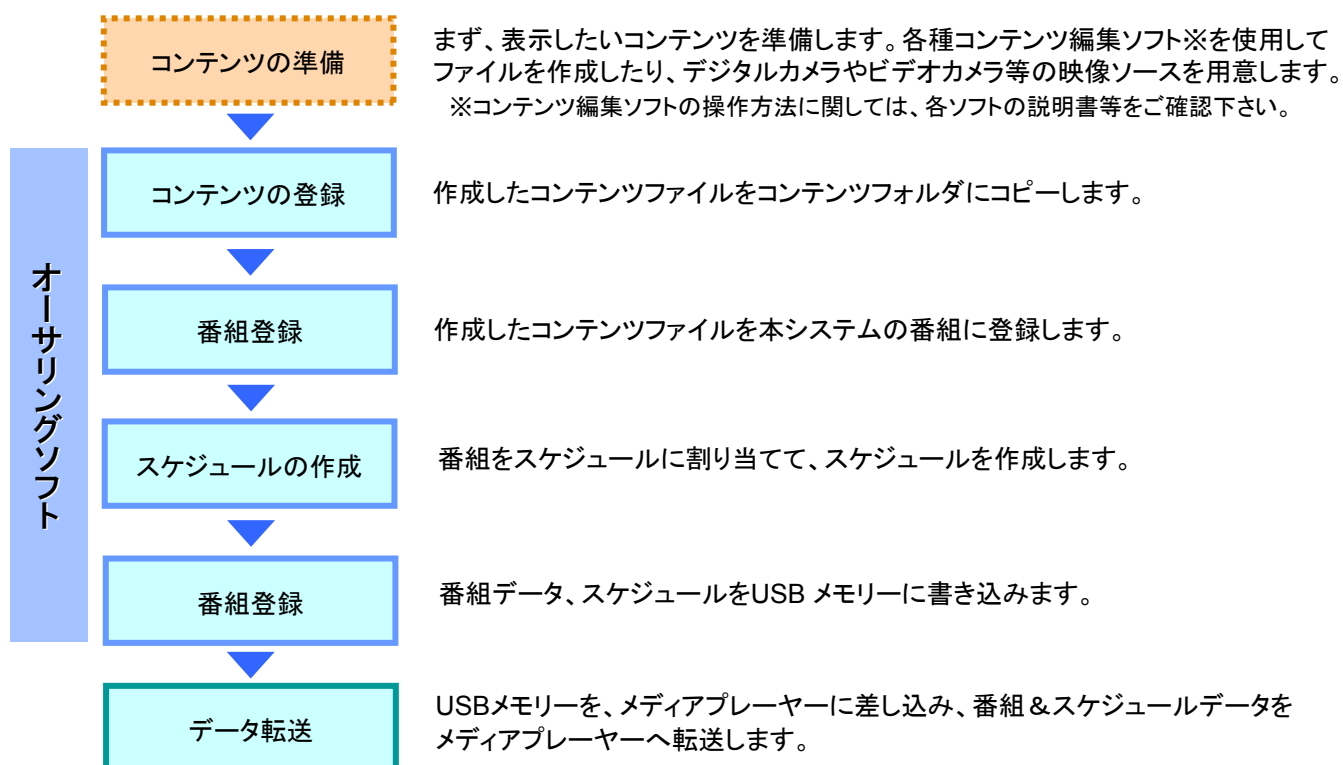
## USBメモリを使用する操作

## はじめに

画像や音声などのコンテンツ(素材)を組み合わせて作成した番組を、ディスプレイ上に表示するためのツールです。番組は、添付のオーサリングソフトウェアによって作成し、USBメモリを用いて配信されます。本書では、オーサリングソフトで番組を作成し、プレーヤーに表示をおこなうまでの操作について説明します。



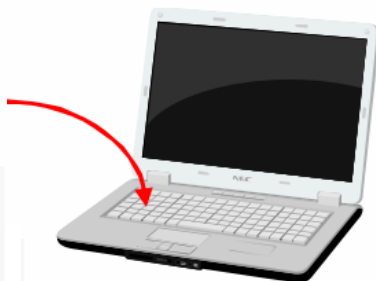
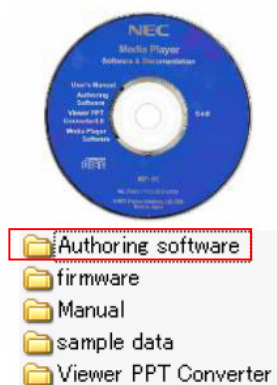
## オーサリングソフト操作の流れ



## オーサリングソフトのインストール

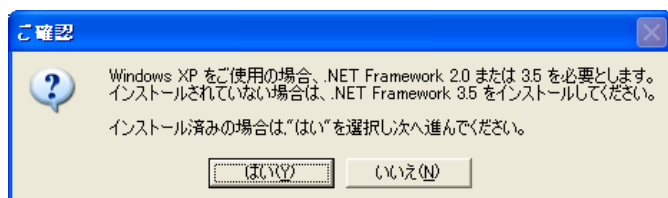
添付CD

**インストール作業時間: 5分程度**



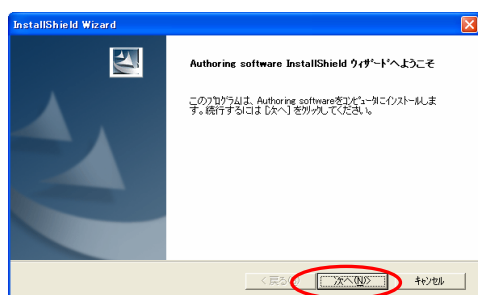
- ◆ メディアプレーヤーに添付しているCDを、インストールするパソコンにセットします。

- ◆ 添付CDの「<Authoring Software>/<JP>」フォルダ内にある“setup”を実行します。

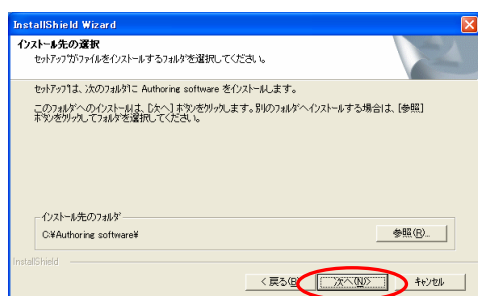


- ◆ Windows XPの場合、Microsoft .NET Framework 2.0 あるいは3.5 のいずれかがインストールされていることを確認します。インストールされていなければ、「いいえ」を選択しMicrosoft Windows Updateからインストールしてください。 \* 注1)

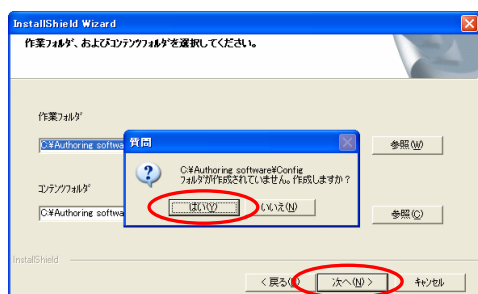
Windows Vista、7の場合はインストール済みです。  
(インストールされていない状態では、本ソフトウェアはエラー終了します。)



- ◆ 画面のメッセージに従い、「次へ」を選択します

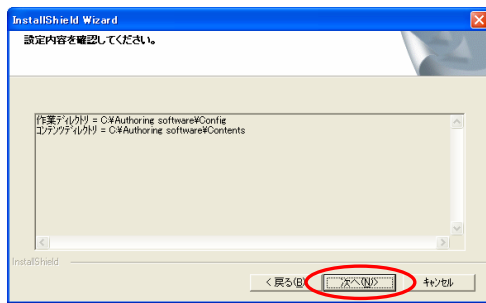


- ◆ インストールするフォルダを指定します。  
※標準→ C:\¥Authoring software¥  
標準フォルダでよければ、「次へ」を選択します。

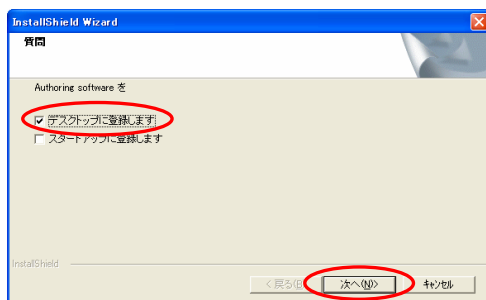


- ◆ 画面のメッセージに従い、「はい」を選択します

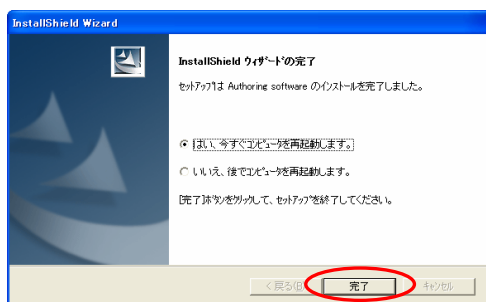
\* 注1) インストールの確認方法とインストール方法の詳細は、オーサリングソフトウェア操作マニュアルを参照ください。



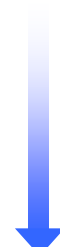
- ◆ 画面のメッセージに従い、「次へ」を選択します



- ◆ “デスクトップに登録します”にチェックを付け、「次へ」を選択します



- ◆ “Authoring softwareのインストール完了”  
※コンピュータを再起動します



- ◆ 再起動したら、デスクトップ上に左図の  
“Authoring software”アイコンが作られていることを  
確認します。

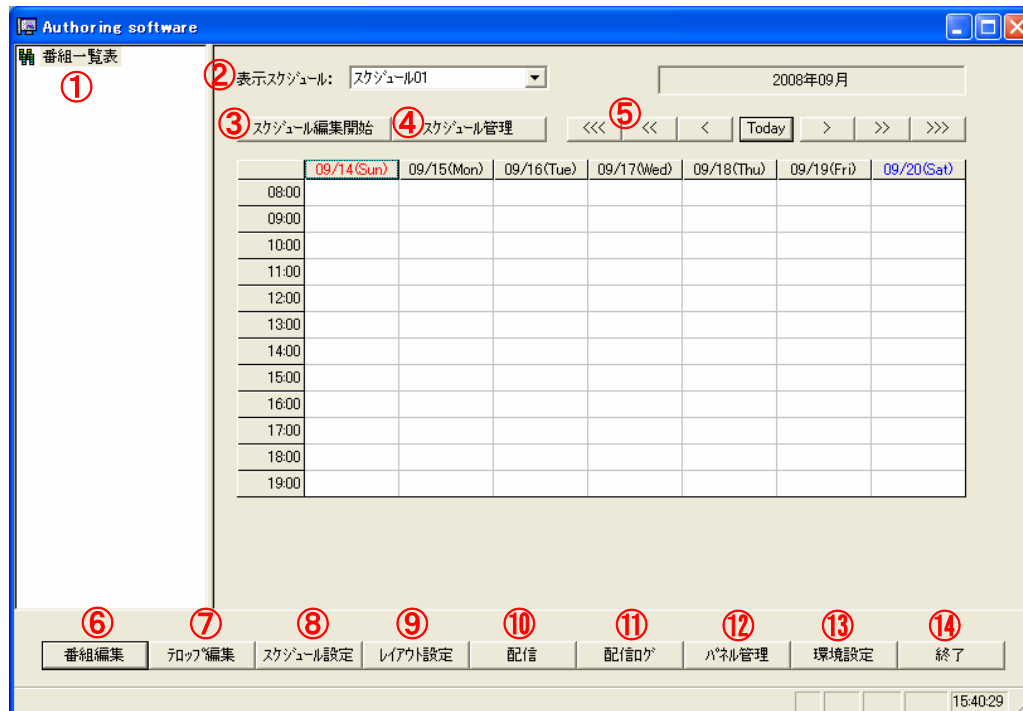


## プログラムの起動（メインメニュー）



デスクトップ上の「 Authoring software 」をクリックしプログラムを起動します。

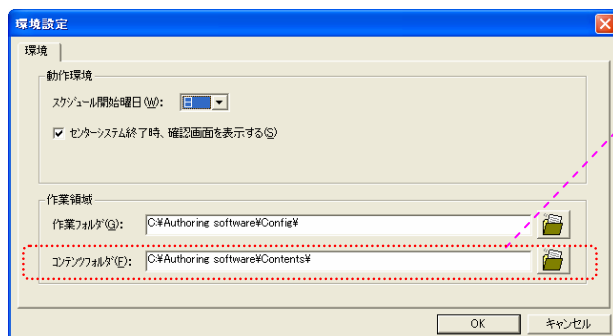
「 Authoring software 」を起動すると、以下の「メイン画面」が表示されます。



- ① 番組一覧表 ..... 登録番組の一覧を表示します。
- ② 表示スケジュール ..... 画面上に表示されるスケジュールシートを切り替えます。
- ③ スケジュール編集開始 ..... 表示スケジュールの編集開始／終了をおこないます。
- ④ スケジュール管理 ..... スケジュール情報を設定します。
- ⑤ スケジュール移動 ..... スケジュールを月・週・日単位で移動します。
- ⑥ 番組編集 ..... 番組情報の編集をおこないます。
- ⑦ テロップ編集 ..... テロップ情報の編集をおこないます。
- ⑧ スケジュール設定 ..... 番組をスケジュールに登録します。
- ⑨ レイアウト設定 ..... レイアウトの新規作成、編集をおこないます。
- ⑩ 配信 ..... スケジュールや番組の配信(USB メモリーへの書き込み)をおこないます。
- ⑪ 配信ログ ..... 配信結果を確認します。
- ⑫ パネル管理 ..... メディアプレーヤーが使用するスケジュールを選択します。
- ⑬ 環境設定 ..... センターシステムの動作環境を設定します。
- ⑭ 終了 ..... センターシステムを終了します。

## 環境設定

はじめに本システムの動作環境を設定します。環境設定をおこなうには【メイン】画面の ＜環境設定＞ボタンをクリックします。



☆コンテンツ編集ソフト等で作成した、コンテンツデータは必ず、このフォルダ内に事前に保存しておいて下さい。「Contents」フォルダを、事前にデスクトップにショートカットを作っておくと便利です。

☆インストール時、初期設定(左図)されておりますので、特に指定フォルダ等を変更しない場合は設定する必要がありません。

コンピュータ上でオーサリングソフトウェアを使用して以下の番組を作成し、メディアプレーヤーにコピーするまでの手順を説明します。

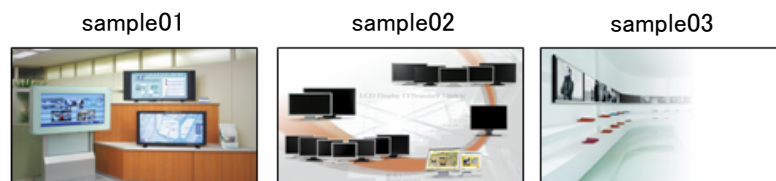
## 練習



- ・レイアウトタイプ  
[横型]二分割【上(画像)+下(テロップ)】
- ・毎日午前8時から午後6時まで番組を表示、それ以外の時間は電源はオフ
- ・毎週水曜日は一日中電源オフ

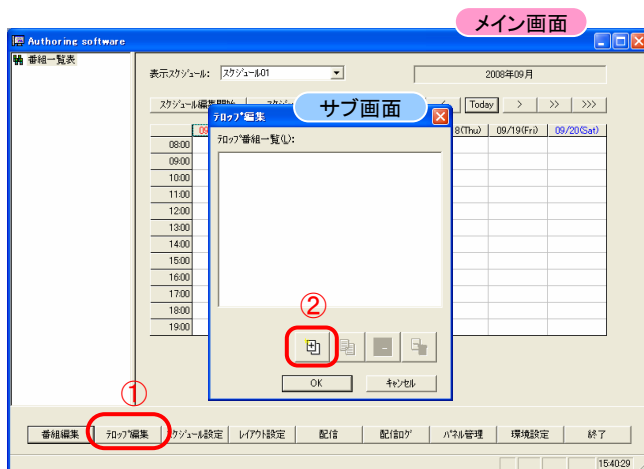
★ 今回は、添付の「ユーティリティCD」に保存※されている練習用サンプルデータを使用します。

※「ユーティリティCD」の ¥sample data 内に、以下の静止画データ(3枚)が格納



★ 「Contents」フォルダに、上記3枚の静止画を、事前にコピーして下さい。

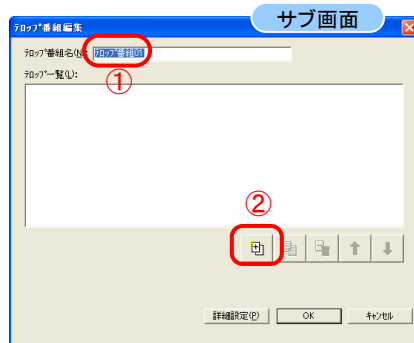
## テロップ編集



◆ メイン画面の【テロップ編集】ボタンをクリックします。

◆ <テロップ編集一覧>のサブ画面が表示されます。

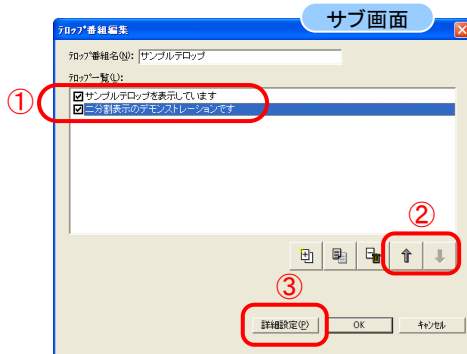
◆ 新規番組を作成しますので、【+(追加)】ボタンをクリックします。



◆ <テロップ番組編集>のサブ画面が表示されます。

◆ “テロップ番組名”の テロップ番組01 を、  
「サンプルテロップ」に変更します。

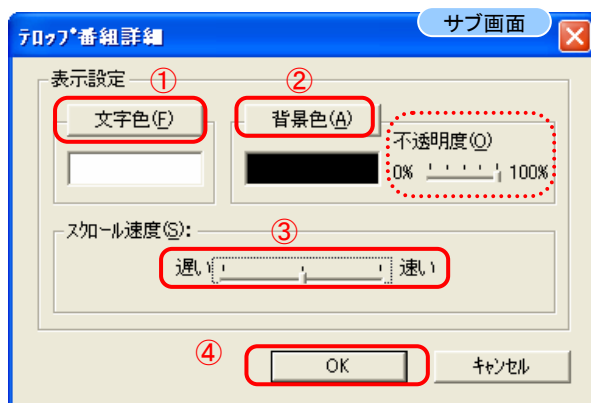
◆ 新規テロップ番組を作成しますので、【+(追加)】  
ボタンをクリックします。



◆ 「サンプルテロップを表示しています」と入力します。  
【+(追加)】ボタンをクリックし複数テロップを追加  
してみましょう。

◆ ↑ ↓ ボタンでテロップの表示順番を変更することが  
できます。

◆ 【詳細設定】ボタンをクリックします。



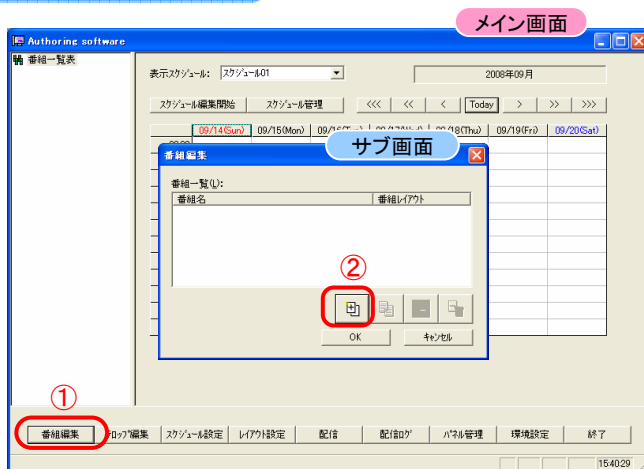
◆ <テロップ番組詳細>のサブ画面が表示されます。

◆ “表示設定”で【文字色】【背景色】ボタンをクリックし  
任意の色に変更します。  
（“不透明度”を、100%以下にするとテロップ背景色が透過します）  
“スクロール速度は、3段階で調整することができます。

◆ 【OK】→【OK】でテロップ編集を終了します。

※【OK】しないとテロップ及び詳細設定内容は登録されません。

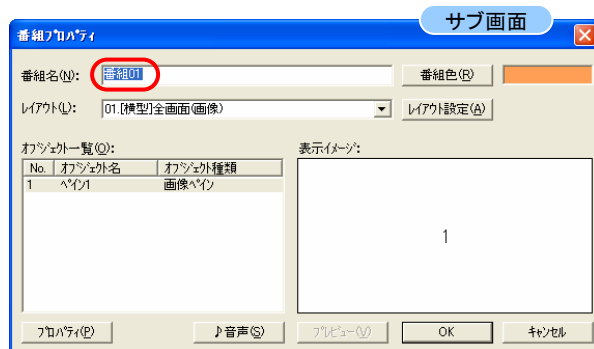
## 番組編集



◆ メイン画面の【番組編集】ボタンをクリックします。

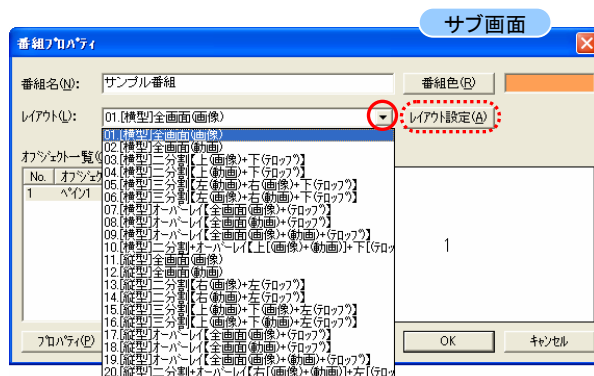
◆ <番組一覧>のサブ画面が表示されます。

◆ 新規番組を作成しますので、【+(追加)】ボタンをクリックします。



◆ <番組プロパティ>のサブ画面が表示されます。

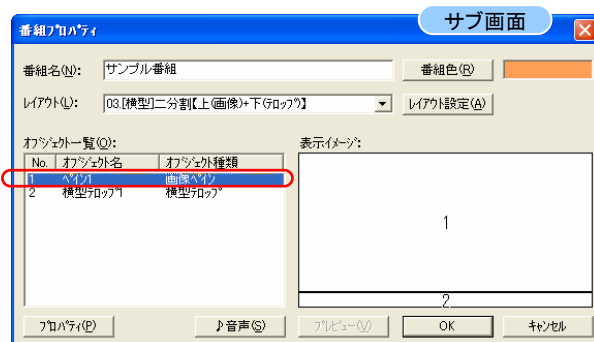
◆ “番組名”の 番組01 を、「サンプル番組」に変更します。



◆ “レイアウト”の ▾ ボタンで「01[横型]全画面(画像)」を「03[横型]二分割【上(画像)+下(テロップ)】」に変更します。

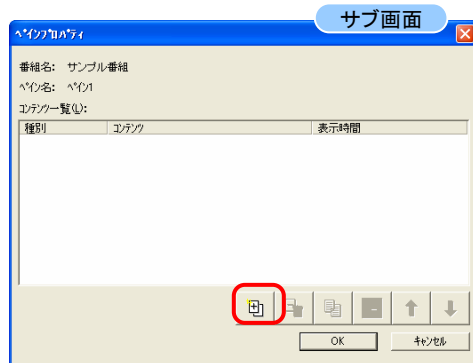
“ペイン1”と“横型テロップ1”表示イメージ(レイアウト)に変わります。

☆表示パターンにあわせて36種類のレイアウトから選択することができます。また、【レイアウト設定】で詳細なレイアウト設定を行うことができます。



◆ オブジェクト名 “ペイン1 (画像)”をクリックします。

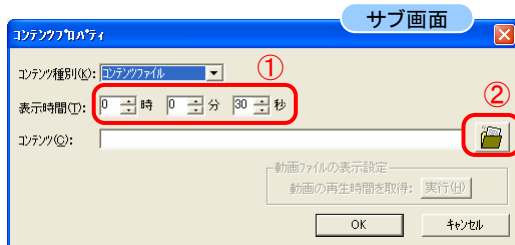
## コンテンツ登録




◆ <ペインプロパティ>のサブ画面が表示されます

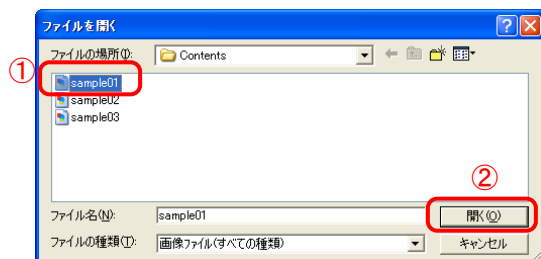
◆ コンテンツ※を登録しますので、【+(追加)】ボタンをクリックします。

◆ <コンテンツプロパティ>のサブ画面が表示されます。



◆ “表示時間※”を設定します。  
※1枚のコンテンツ画像の表示時間です。  
“30秒”に設定されていますので、「15秒」に変更します。

◆  をクリックします。

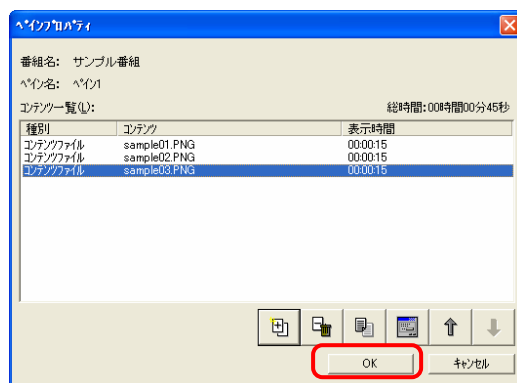


◆ <ファイルを開く>のサブ画面が表示されます。

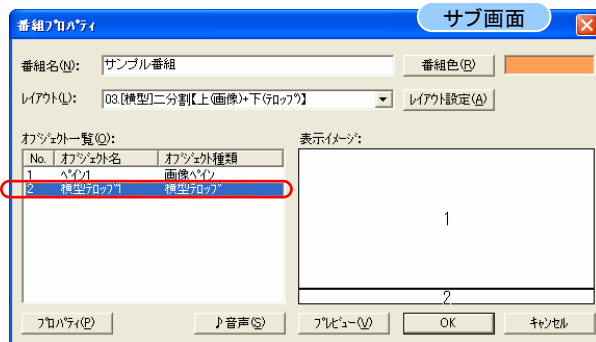
◆ 先ほど「Contents」フォルダに登録した、Sampleファイル（画像）が表示されます。  
「Sample01」を選択し、【開く】ボタンをクリック※します。  
※ダブルクリックでも可能

◆ 上記手順で、「Sample02」「Sample03」も追加します。

◆ 【OK】で“ペイン1”へのコンテンツが登録されます。  
※【OK】しないとコンテンツは登録されません。

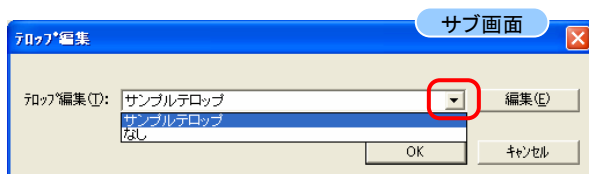


## テロップ登録



◆ オブジェクト名 “横型テロップ1”をクリックします。

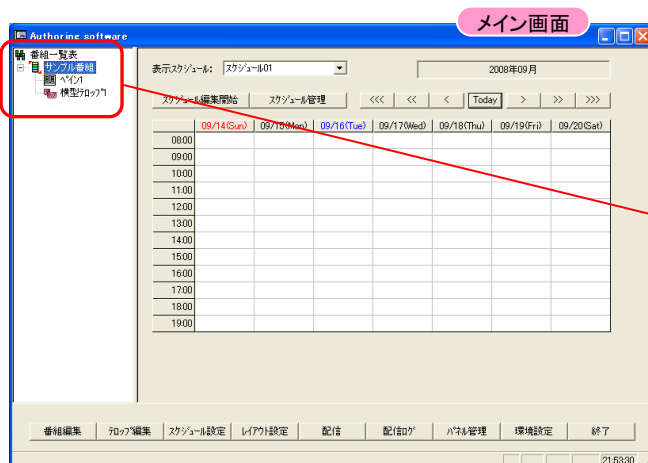
◆ <テロップ編集>のサブ画面が表示されます



◆ “テロップ編集”の“なし”を、先ほど作成したテロップ番組 “サンプルテロップ”に変更します。

◆ 【OK】で“横型テロップ1”へのテロップが登録されます。

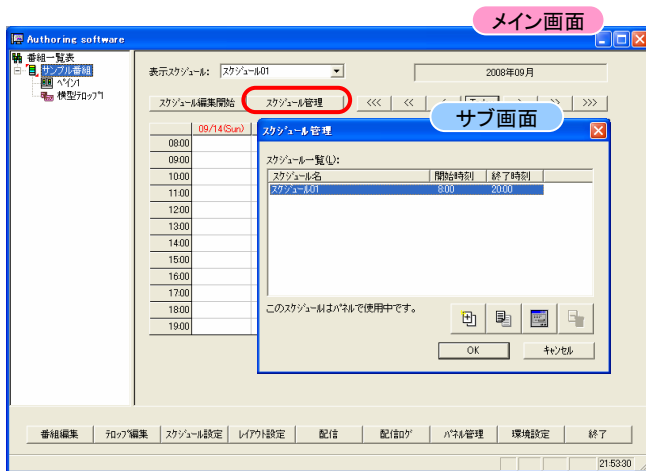
※【OK】しないとコンテンツは登録されません。



◆ 【OK】→【OK】で番組編集を終了しメイン画面に戻ります。

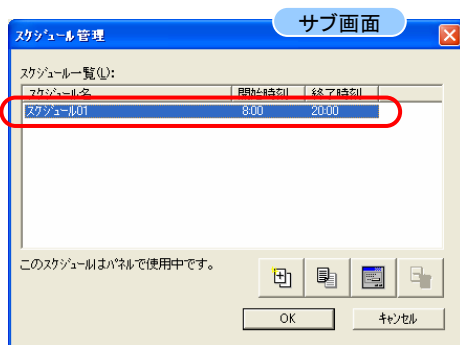


## スケジュール管理

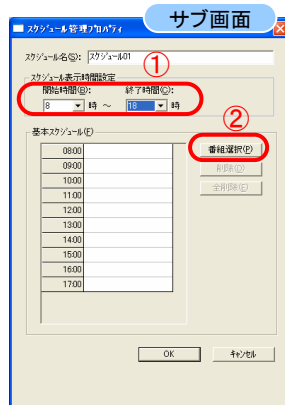


◆ メイン画面の【スケジュール管理】ボタンをクリックします。

◆ <スケジュール管理>のサブ画面が表示されます。



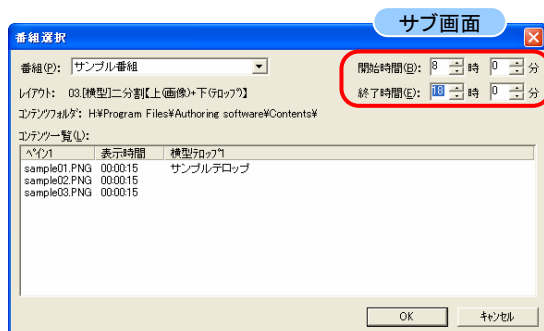
◆ “スケジュール一覧”の“スケジュール01”をクリックします。



◆ <スケジュール管理プロパティ>のサブ画面が表示されます。

◆ “スケジュール表示時間設定”で、「8:00～18:00」に設定します。

◆ 【番組選択】ボタンをクリックします。

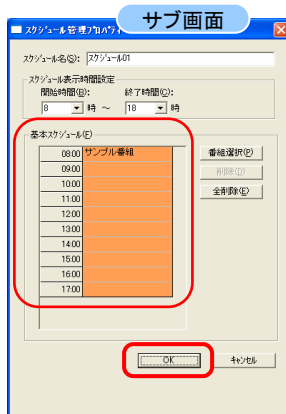


◆ <番組選択>のサブ画面が表示されます。

◆ 先ほど登録した“サンプル番組”が一覧に表示されます。

◆ 開始、終了時間を、「8:00～18:00」に設定します。

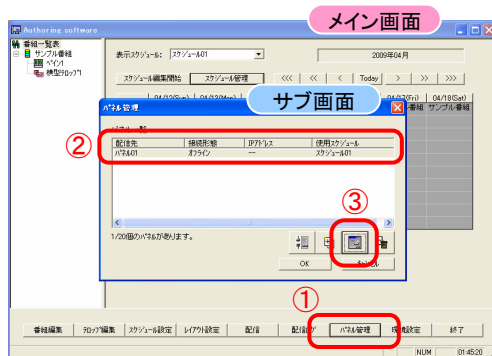
◆ 【OK】ボタンをクリックし確定させます。



- ◆ “基本スケジュール”の設定時間に“サンプル番組”が割り当てられます。


- ◆ 【OK】ボタンをクリックしメイン画面へに戻ります。

## パネル管理（電源設定）



- ◆ <メイン画面>の【パネル管理】ボタンをクリックします。

- ◆ <パネルプロパティ>のサブ画面が表示されます。

- ◆  をクリックします

- ◆ <パネルプロパティ>のサブ画面が表示されます。

- ◆ “電源管理”タブをクリックします。

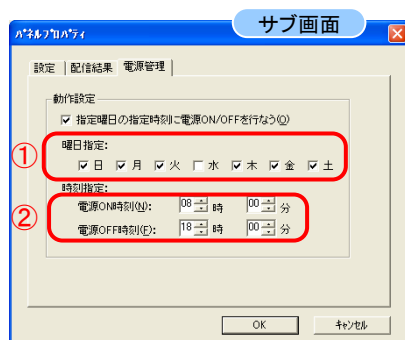
- ◆ “指定曜日の指定時刻に電源ON/OFFを行う”にチェックをつけます。

- ◆ “動作設定”の“曜日指定”で 水曜日 以外にチェックをつけます。 ※水曜日は電源をON/OFFしない設定

- ◆ <パネルプロパティ>のサブ画面が表示されます。

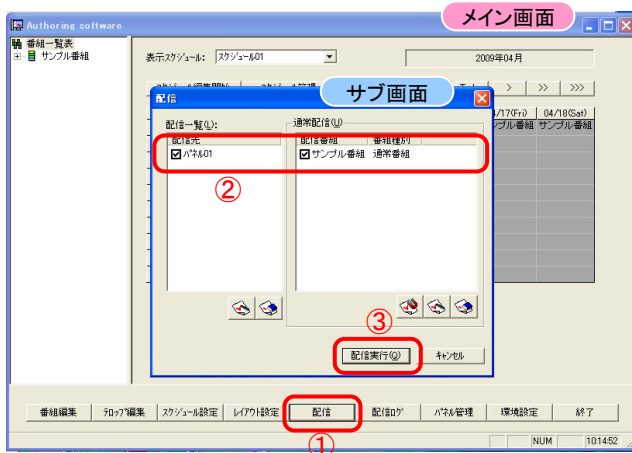
- ◆ “時刻指定”の電源ON/OFF時刻を、「8:00～18:00」に設定します。

- ◆ 【OK】ボタンをクリックし確定させます。





## 配信

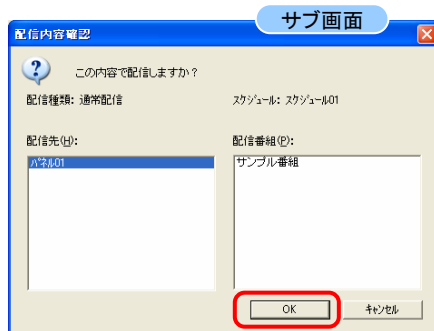


◆ <メイン画面>の【配信】ボタンをクリックします。

◆ <配信>のサブ画面が表示されます。

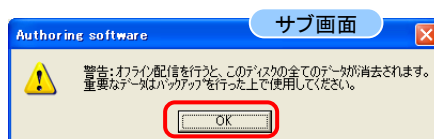
◆ “サンプル番組”にチェックをつけます。

◆ 【配信実行】ボタンをクリックします。



◆ <配信内容確認>のサブ画面が表示されます。

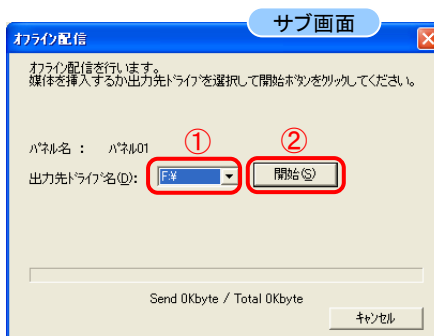
◆ 【OK】ボタンをクリックし確定させます



◆ <警告>のサブ画面が表示されます。

※配信実行すると、配信されるUSBメモリのデータが全て消去されます。消去されても問題のないUSBメモリーを使用下さい。

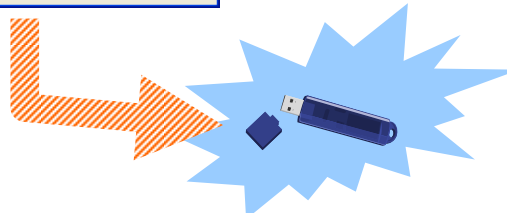
◆ 【OK】ボタンをクリックし確定させます



◆ <オンライン配信>のサブ画面が表示されます。

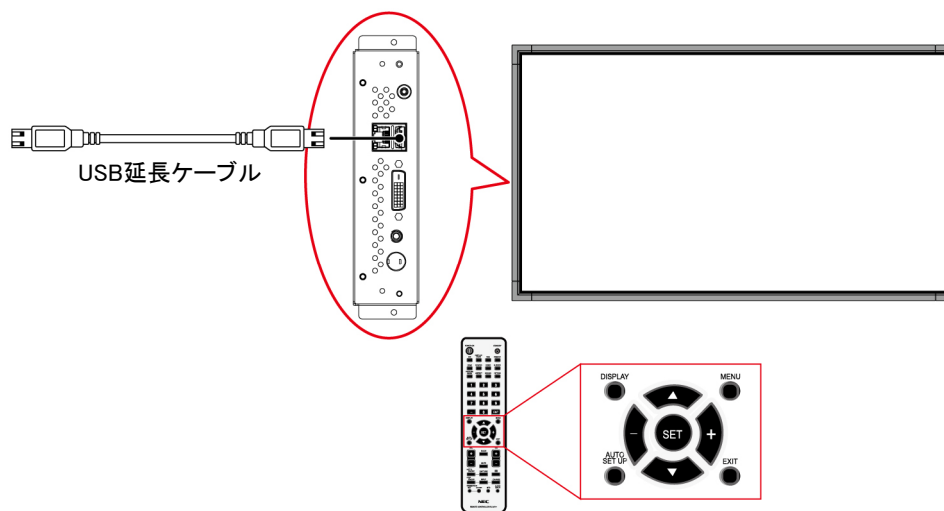
◆ USBメモリーをセットした“出力ドライブ名”を選択します。

◆ 【開始】ボタンをクリックします。



オーサリングソフト側の  
作業は終了です

## 番組データをメディアプレーヤー（SB-L008KU）のメモリーカードにコピーする



- 番組データを入れたUSBメモリを用意します。

注意：番組データは必ず付属のオーサリングソフトウェアの「配信」機能を使用してUSBメモリ内にコピーしてください。

- リモコンのスタンバイボタンを押してメディアプレーヤーの電源を切ってから、番組が入っているUSBメモリをセットしてください。

注意：アップデートをおこなうと、メディアプレーヤー内の番組データは上書きされます。旧番組データは失われますのでご注意ください。

- リモコンの電源ボタンを押してメディアプレーヤーの電源を入れてください。画面にアップデートの確認画面が表示されるので、SETボタンを押してください。USBメモリ内のファイルが本体内のメモリーカードにコピーされます。

注意：「重要!!! 現在アップロード中。」の文字が表示されている間は、USBメモリを取り外したり電源を遮断したりしないでください。USBメモリまたはメモリーカード内のデータが壊れる場合があります。

- コピー完了後、自動的に再起動します。本体のイニシャライズが終了すると(約60秒かかります)再度アップデートの確認画面が表示されます。EXITボタンを押してキャンセルしてください。

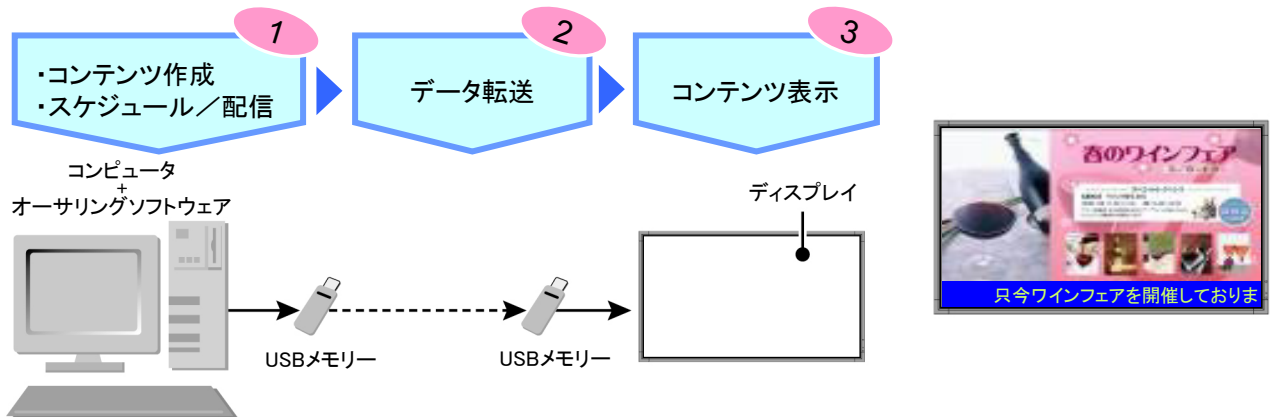
- USBメモリを抜いてください。

注意：番組データの最大容量は1.8G byte（添付のSDカード(2Gbyte)の場合)です。番組データをメディアプレーヤーにコピーする際は、USBメモリ内のコンテンツデータ容量がこの値を超えないように注意してください。メディアプレーヤーにセットされているSDカードの最大容量は、OSD画面の「メモリーカード」で確認できます。  
番組データのアップデート時間は、データ容量が1.8Gbyteの場合、最大約15分かかります。

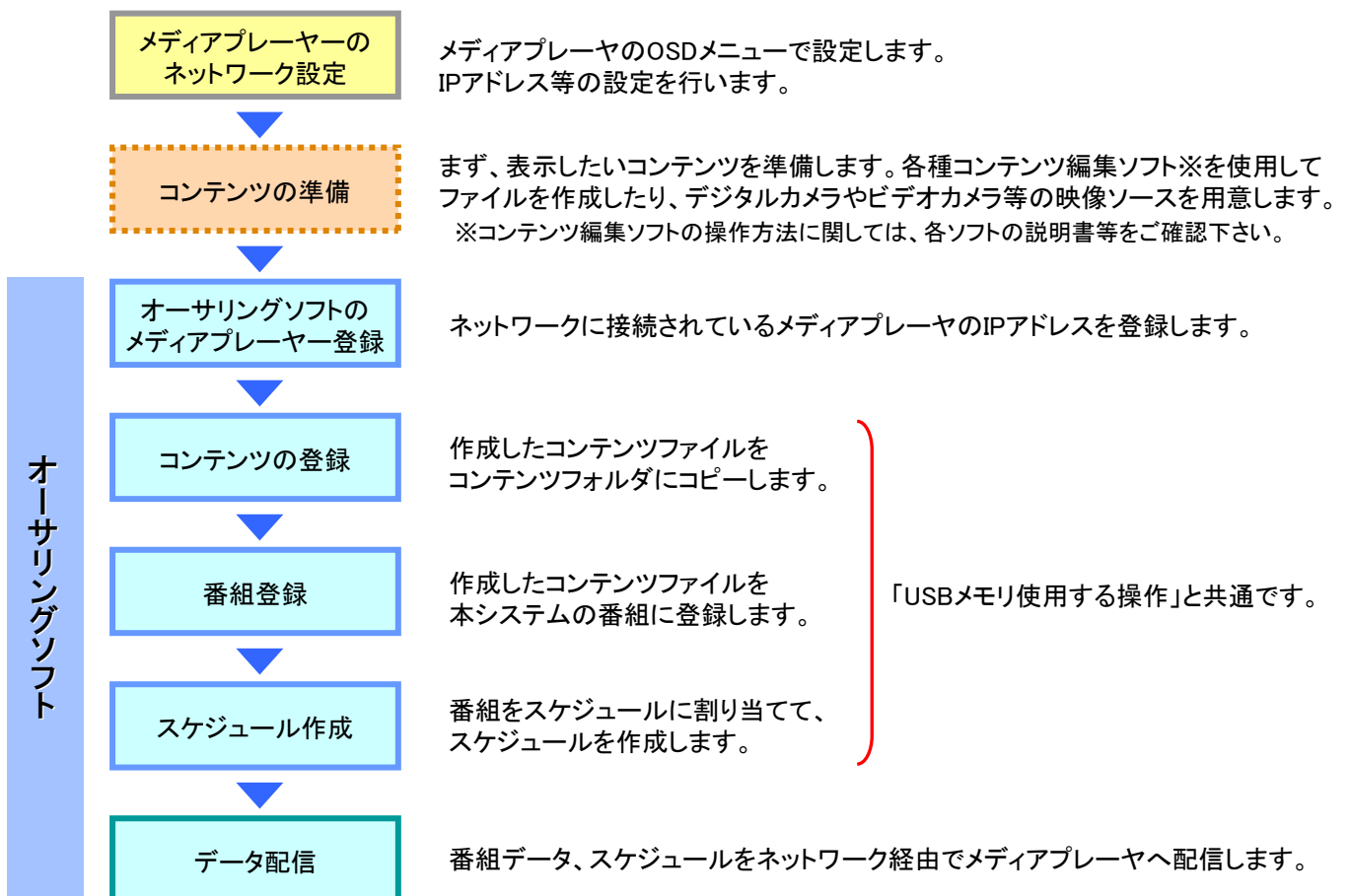
## ネットワークを使用する操作

## はじめに

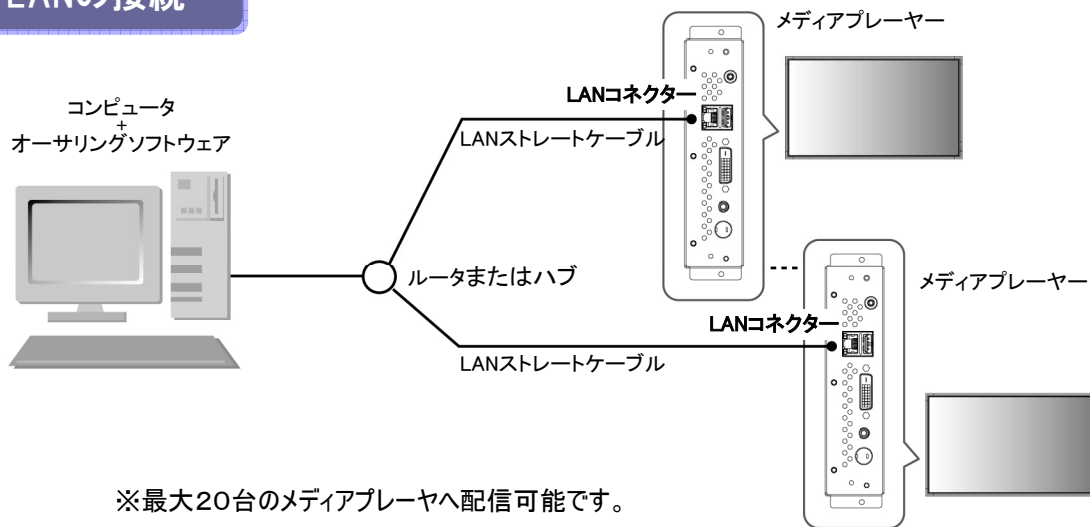
画像や音声などのコンテンツ(素材)を組み合わせて作成した番組を、ディスプレイ上に表示するためのツールです。  
 番組は、添付のオーサリングソフトウェアによって作成し、ネットワーク経由で配信されます。  
 本書では、オーサリングソフトで番組を作成し、プレーヤーに表示をおこなうまでの操作について説明します。



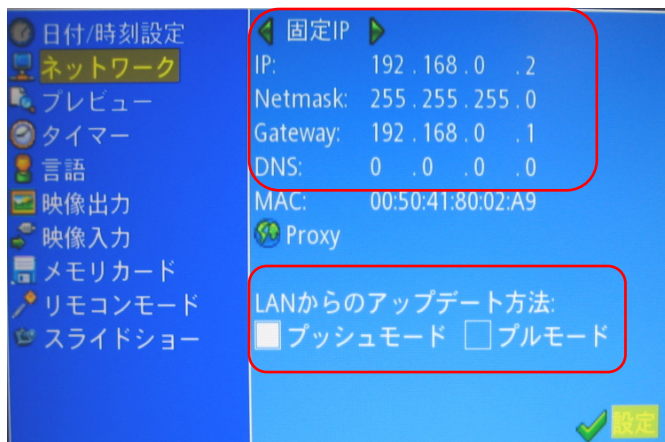
## 操作の流れ



## LANの接続



## メディアプレーヤーネットワーク設定



◆メディアプレーヤーの電源を入れる。

◆ OSDメニューを開くリモコンキーを押し、OSD表示後、“ネットワーク”を選択します。

◆ IPアドレス、Netmaskを設定します。

設定例

パソコンの IP アドレスが「192.168.0.3」ネットマスクが「255.255.255.0」の場合、

IPアドレス: 192.168.0.2  
Netmask :255.255.255.0

◆ Gatewayを、192.168.0.1(出荷設定のまま)に設定します。

◆ DNSを無効(0. 0. 0. 0) に設定します。

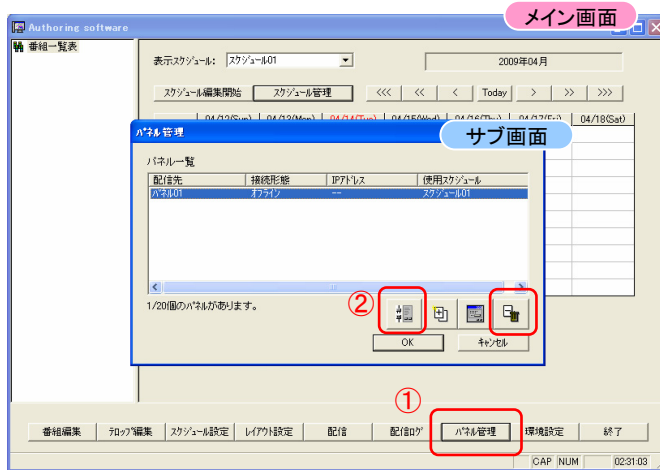
◆ LANからのアップデート方法を“プッシュモード”を選択します。

◆ “設定”をクリックします。

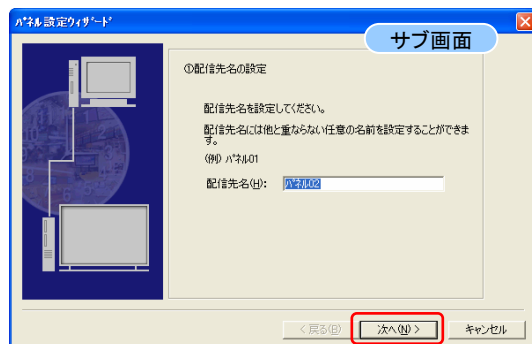
## オーサリングソフトのインストールとプログラムの起動

「USBメモリを使用する操作」の、3ページ～4ページを参照してください。

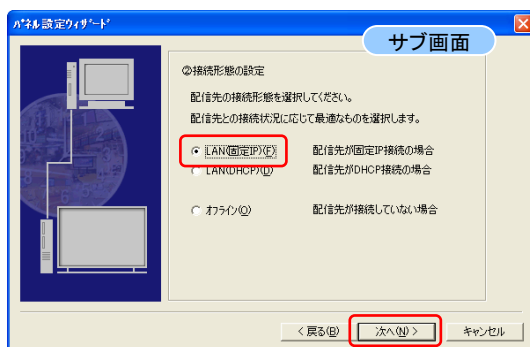
## オーサリングソフトのメディアプレーヤ登録



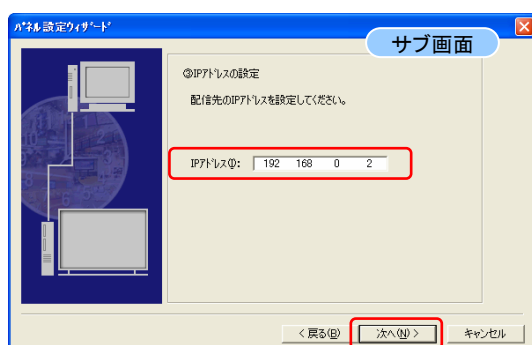
◆メイン画面の＜パネル管理＞ボタンをクリックします。



◆【次へ】ボタンをクリックします。



◆LAN(固定IP)を選択し、【次へ】ボタンをクリックします。



◆メディアプレーヤーのIPアドレスを入力し、【次へ】ボタンをクリックします。

## オーサリングソフトのメディアプレーヤ登録(続き)



◆【次へ】ボタンをクリックします。



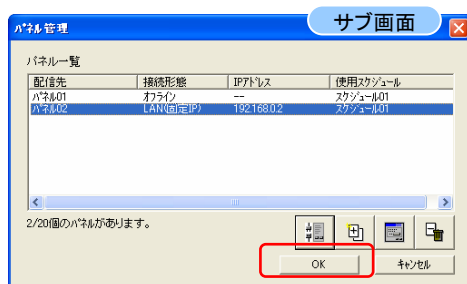
◆“Playerの電源ON時間、OFF時間”を設定し、  
【次へ】ボタンをクリックします



◆“自動時刻補正”の時刻を設定し、【次へ】ボタンを  
クリックします。



◆【完了】ボタンをクリックします。

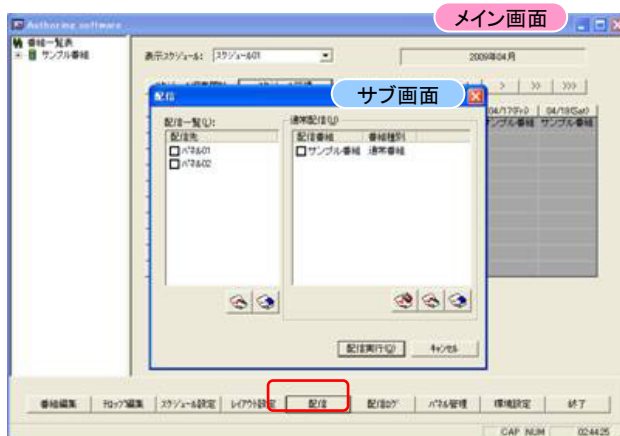


◆【OK】ボタンをクリックします。

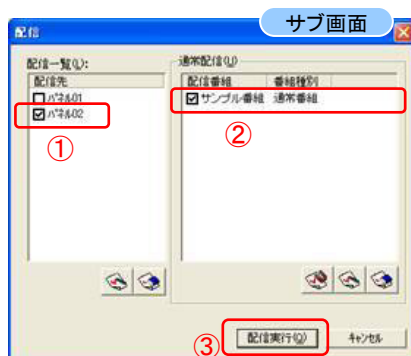
## コンテンツ登録/番組データ・スケジュールの登録

「USBメモリを使用する操作」の、1～14ページを参照してください。

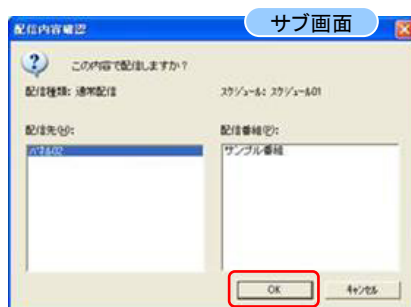
## 配信



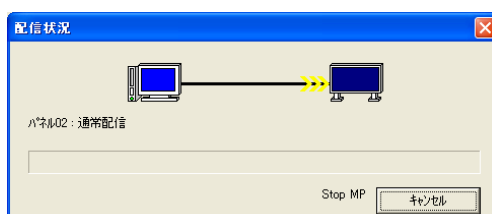
◆【配信】ボタンをクリックします。



◆“配信先”と“配信番組”を選択し、【配信実行】ボタンをクリックします。

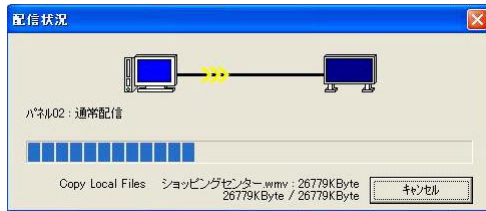


◆【OK】ボタンをクリックします。



◆配信画面になります。



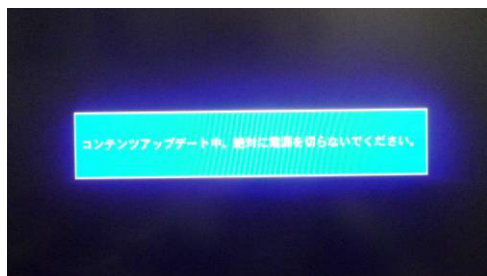


◆“配信状況”が表示されます。

操作パソコン側から、メディアプレーヤー側にデータ転送を開始します。

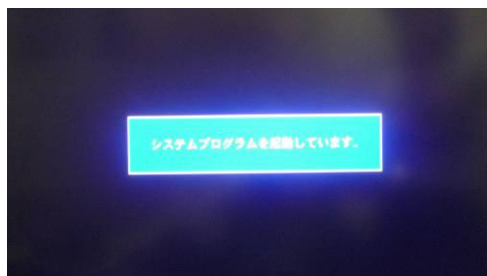
## 表示装置側の画面

＜注意＞ オーサリングソフトから、データ“配信”をする場合は、必ずメディアプレーヤー側の電源をONにしておく必要があります。



◆「コンテンツアップデート中。絶対に電源を切らないでください」のメッセージが画面に表示されます。

注)\*表示がない状態(黒画)ではメッセージは表示されません。



◆データの“配信”が完了すると、メディアプレーヤーが再起動しプログラムが起動します。

注)\*表示がない状態(黒画)ではメッセージは表示されません。



◆コンテンツが表示されます。

## 添付ソフトを使用する操作

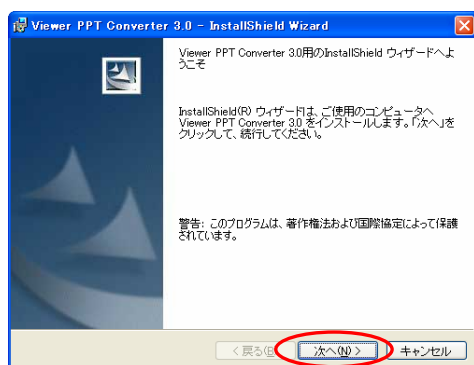
## Viewer PPT Converter のインストール



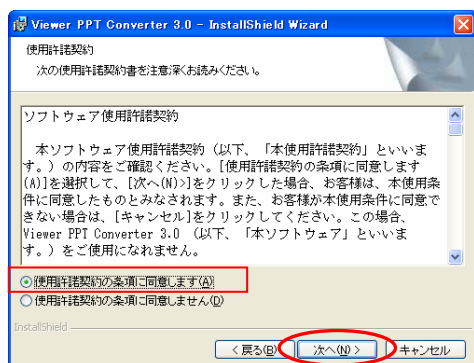
- ◆ SB-L800KUに添付している、Viewer PPT Converterを、インストールするパソコンにセットします。

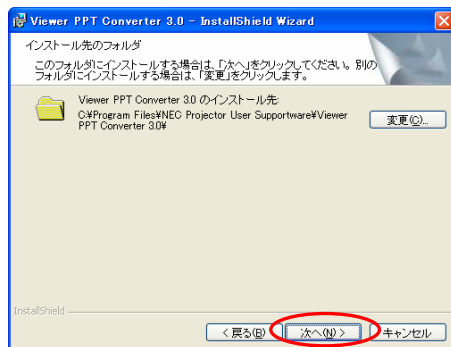
- ◆ 添付CDの「Viewer PPT Converter」フォルダ内にある“setup.exe”を実行します。

- ◆ 画面のメッセージに従い、「次へ」を選択します



- ◆ “使用許諾契約”メニューが表示されますので“○使用許諾契約の条項に同意します(A)”にチェックし、「次へ」を選択します。

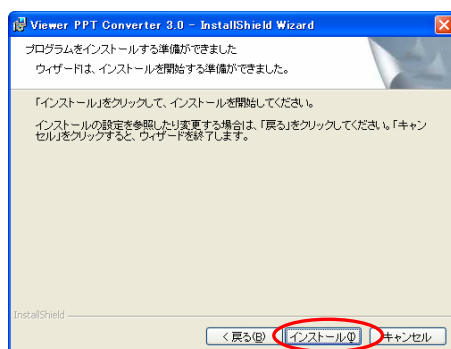




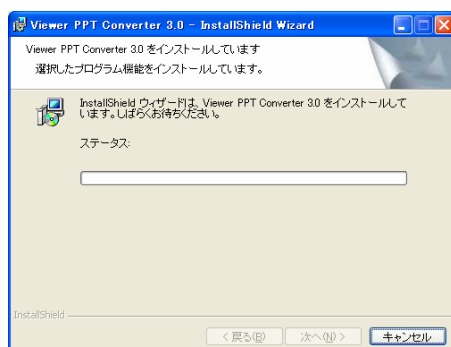
- ◆ インストールするフォルダを指定します。  
※標準→ C:\Program Files¥ 標準フォルダであれば、「次へ」を選択します。



- ◆ 画面のメッセージに従い、「次へ」を選択します。



- ◆ 画面のメッセージに従い、「インストール」を選択します。

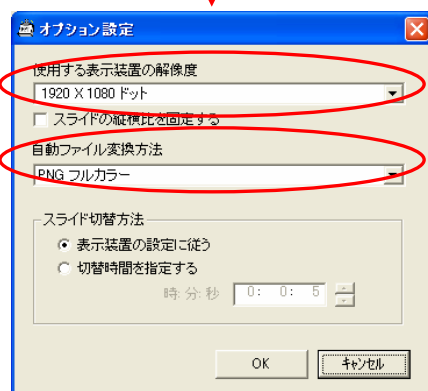
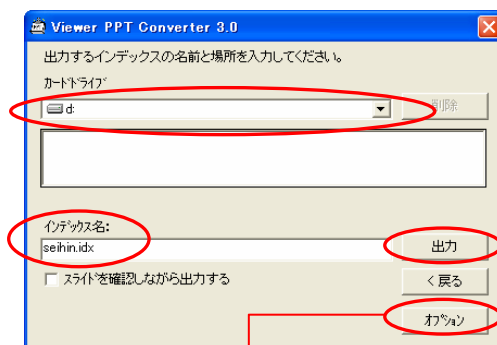
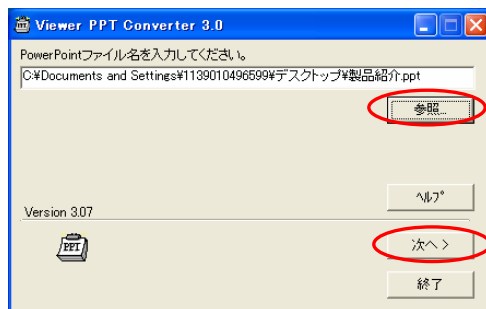


- ◆ Viewer PPT Converterのインストール完了します。



← デスクトップにショートカットアイコンを作っておくと便利です

## ● Viewer PPT Converter の活用



◆ Viewer PPT Converterを、起動します。

◆ コンテンツを作成したPowerPointファイルを選択します。

◆ 「次へ」を選択します。

◆ データを保存するドライブを指定します。

◆ “インデックス名”を入力します。

◆ 「オプション」ボタンを押し、出力する解像度を指定します。

◆ “自動ファイル変換方法”を指定し「OK」を押します。

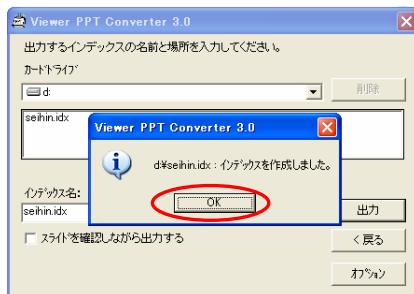
◆ 「出力」ボタンを選択します。



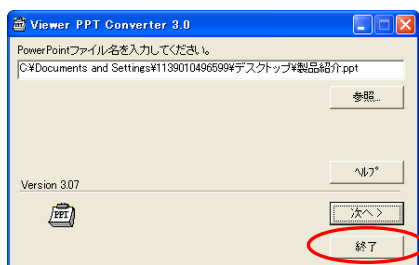
◆ 「OK」を押します。



- ◆ データの変換がスタートします。



- ◆ “インデックスを作成しました”のメッセージが表示された「OK」を押します。



- ◆ 「終了」ボタンを押します。

※別のインデックスを作成する場合は、「次へ」を押し前ページ同様の手順で新規に作成します。

#### d:¥seihinフォルダに作られたデータ



- ◆ PPTデータを変換し、指定フォルダ内に作成したデータ (PNG画像) を、“Authoring software”のコンテンツフォルダ内にコピーします。

標準

→ C:¥Program Files¥Authoring software¥Contents¥

## ● パワーポイントを使ったコンテンツ作成方法

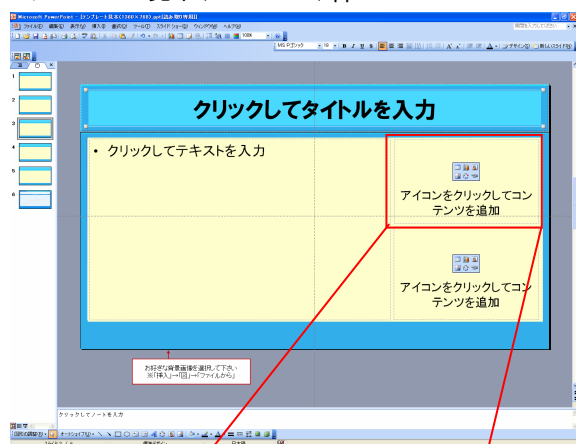
## 背景テンプレート活用

### <画像入りコンテンツスライド>

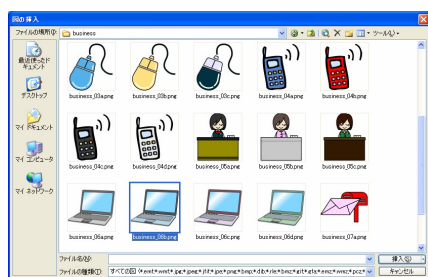
添付CD



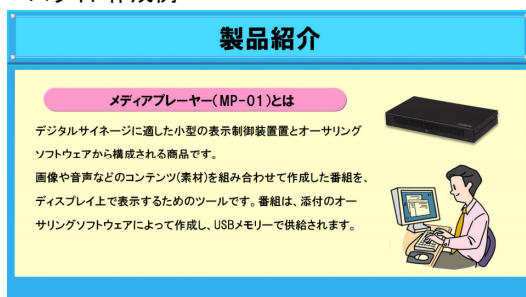
テンプレート見本(1360×768).ppt



アイコンをクリックしてコンテンツを追加



スライド作成例



◆ 添付CDのサンプルデータを、利用してコンテンツを作成します。(添付CDのsample data¥template¥JPにあります)

◆ 「パワーポイントテンプレート」フォルダ内の“テンプレート見本(1360×768).ppt”を開きます。

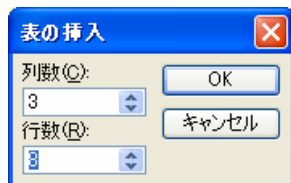
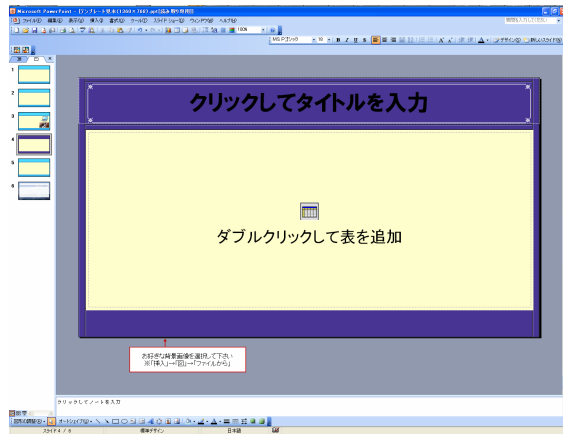
・“6種類”のレイアウトパターンがありますので、ご使用になるスライドを利用します。  
(使用しないスライドは削除して下さい)

◆ “クリックしてタイトル(テキスト)を入力”の箇所に直接文字を入力します。

◆ アイコンをクリックし画像が保存してあるフォルダを指定しスライドに画像を貼り付けます。

## ＜表入りコンテンツスライド＞

テンプレート見本(1360×768).ppt



スライド作成例

本日のイベント案内		
時間	イベント名	会場
10:00～12:00	関東地区異業種交流会	Room102
10:00～15:00	サファイア化粧品新商品発表会	Room205
10:00～16:00	NECDSオープンフォーラム	Room203
13:00～17:00	21年度 合同会社説明会	Room201
15:00～18:00	女性のための起業家セミナー	Room101

- ◆ 「パワーポイントテンプレート」フォルダ内の“テンプレート見本(1360×768).ppt”を開きます。

・“6種類”のレイアウトパターンがありますので、ご使用になるスライドを利用します。  
今回は、4スライド目で“表を追加”します。

- ◆ アイコンをダブルクリックします。

“表の挿入”設定が表示されますので、作成したい表の“列数”と“行数”を入力します。

- ◆ 表が作成されますので、表内に直接文字を入力します。  
※表内の幅は、マウス操作で変更可能です。

★ コンテンツを作成したら、P16記載の「Viewer PPT Converterの活用」の流れで画像に変換します。



SB-L008KU  
簡 易 操 作 説 明 書  
2009年 12月 1日 第1版

編集、発行 NECディスプレイソリューションズ株式会社  
このマニュアルを許可なく複写・複製することを禁止します。